

ISUZU

2024年3月期 決算説明

2024年5月14日
いすゞ自動車株式会社

ISUZU

説明内容

1. 全体総括
2. 2024年3月期実績
3. 2025年3月期見通し
4. 2027年3月期定量値目標

将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、現時点で入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その性質上、情報の正確性を保証するものではありません。また、当社は、これらの将来の業績および計画その他将来の情報等に関する記述につき、将来の事象および最新の情報等に基づいて随時更新する義務を負いません。

従いまして、本資料におけるかかる仮定および判断に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化、自動車市場の変化、為替変動、会社の経営環境の変化などを含む種々の要因によって、本資料に記載された情報は影響を受ける可能性があり、ゆえに、当社の将来の業績、経営結果等と異なる結果をもたらす可能性があります。本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願い致します。

本資料に記載された情報に基づいて投資された結果、何らかの損害を被られましても、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

1. 全体総括

全体総括 '24年3月期実績

- 損益は、新興国を中心とした市況悪化、資材費等の変動によるマイナスあるも、価格対応、円安影響、原価低減活動、アフターセールス伸長によるプラスが上回り、増益。
- 売上高及び全ての利益項目において、過去最高を計上。
- CVIは、先進国向けが部品不足改善により台数増、新興国向けが市況厳しく台数減。
- LCVIは、タイ向けが市況厳しく大幅に台数減、輸出向けがバックオーダーの消化により台数増。

グローバル販売台数(千台)		'23/3期	'24/3期	対前年比増減		'24/3期 (2月公表時)
CV計	国内	67	73	+6	+9%	78
	海外	287	236	▲51	▲18%	242
		354	309	▲45	▲13%	320
LCV計	タイ	202	128	▲74	▲36%	129
	輸出	215	229	+14	+6%	228
		417	357	▲60	▲15%	357
合計		771	666	▲105	▲14%	677

決算実績(億円)

売上高	31,955	33,867	+1,912	+6%	34,000
営業利益	2,535	2,931	+396	+16%	2,800
経常利益	2,699	3,130	+431	+16%	3,000
当期利益	1,517	1,764	+247	+16%	1,650
1株当たり配当	79円	92円	+13円		86円

3

当社の製品カテゴリを示す用語について(P.27の村表をご参照ください) CV(Commercial Vehicle): 商用車(トラック及びバス)、LCV(Light Commercial Vehicle): ピックアップトラック及び派生車

全体を総括して、ご説明します。

まずは24年3月期実績です。

損益は、新興国を中心とした市況の悪化、資材費等の変動によるマイナスはありましたが、価格対応、円安影響、原価低減活動、アフターセールス伸長によるプラスが上回り、前年に対して増益となりました。

この結果、通期の売上高、及び全ての利益項目において、過去最高となりました。

台数面では、CVIは、先進国向けが部品不足の改善により増加した一方、新興国向けが、厳しい市況のため、減少しました。
LCVIは、タイ国内向けが、市況厳しく大幅に減少した一方、輸出向けがバックオーダーの消化により増加しました。

全体総括 '25年3月期見通し

- CVIは、国内向けがラインナップの出揃った新型車の拡販・オペレーション正常化により台数増、海外向けが新興国の市況厳しい中、先期レベルの台数確保を目指す。
- LCVは、タイ向けが厳しい市況により大幅減、輸出向けもバックオーダーの正常化により、オセアニアなどで台数減を見込む。
- 損益は、LCVの台数減、資材費の悪化によるマイナスあるも、国内向けCVの台数増、価格対応・原価低減活動の推進によるプラスで減益幅を縮小し、2,600億円レベルの利益確保を目指す。

グローバル販売台数(千台)		'24/3期	'25/3期	対前年比増減		為替前提	'24/3期	'25/3期	増減
CV計	国内	73	97	+24	+33%	USD/JPY	144.6	145.0	+0.4
	海外	236	226	▲10	▲4%	AUD/JPY	95.1	98.0	+2.9
		309	323	+14	+5%	EUR/JPY	156.8	160.0	+3.2
LCV計	タイ	128	90	▲38	▲30%	THB/JPY	4.10	4.10	±0.00
	輸出	229	192	▲37	▲16%				
		357	282	▲75	▲21%				
合計		666	605	▲61	▲9%				

決算実績(億円)

売上高	33,867	33,500	▲367	▲1%
営業利益	2,931	2,600	▲331	▲11%
経常利益	3,130	2,750	▲380	▲12%
当期利益	1,764	1,600	▲164	▲9%
1株当たり配当	92円	92円	±0円	

続きまして、25年3月期の見通しです。

販売台数について、

CVIは、国内向けがラインナップの出揃った新型車による拡販・オペレーションの正常化による台数増を、海外向けが、新興国の市況が厳しい中でも、先期レベルの台数確保を目指します。

LCVは、タイ国内向けが市況厳しく、大幅な台数減を、輸出向けについても、バックオーダーが正常化したことを受けて、オセアニアなどで台数減を見込みます。

損益は、LCVの台数減、資材費の悪化によるマイナスはありますが、国内向けCVの台数増、価格対応及び原価低減活動の推進によるプラスで減益幅を縮小し、営業利益で2,600億円レベルの利益確保を目指します。

為替前提は、記載の通りです。

全体総括 株主還元方針

ISUZU

'24年3月期

- 配当金（通期）は、前中計の方針（配当性向 平均40%）に基づき、前回見通しから+6円増配の92円とする。
- 自社株式 500億円分の取得は、4月に消却まで完了。
- 総還元性向は、前中計期間の3年合計で、51.3%。
- 24年3月期のROEは、目標の12.5%を上回る12.7%。

'25年3月期

- 25年3月期は減益を見込んでいるが、足元の需要低迷による一時的なものであり、新中期経営計画で示した通り、2030年に向けた成長シナリオに揺るぎはない。
- 配当金（通期）の見通しは、減配とはせず、24年3月期と同額の92円とする。
- 自社株式取得は、適正な自己資本水準を意識しつつ、機動的な実施を継続する。

5

続きまして、株主還元方針をご説明します。

24年3月期について、通期の配当金は、前中期経営計画（以下、前中計）で掲げた「配当性向平均40%」の方針に基づき、前回見通しから+6円増配の92円とします。

また、昨年11月に発表した自己株式500億円の取得については、今年の2月までに取得を終え、4月に消却まで完了しています。この結果、総還元性向は、前中計期間の3年合計で、51.3%となりました。24年3月期のROEについては、目標の12.5%を上回る12.7%となりました。

25年3月期は、減益を見込んでいますが、足元の需要低迷による一時的なものであり、新中期経営計画でお示した通り、2030年に向けた成長シナリオに揺るぎはありません。

このため、配当金の見通しは、減配とはせず、24年3月期と同額の92円を予定しています。

また、自己株式の取得については、適正な自己資本水準を意識しつつ、機動的な実施を継続します。

全体総括は、以上になります。

ISUZU

2. 2024年3月期 実績

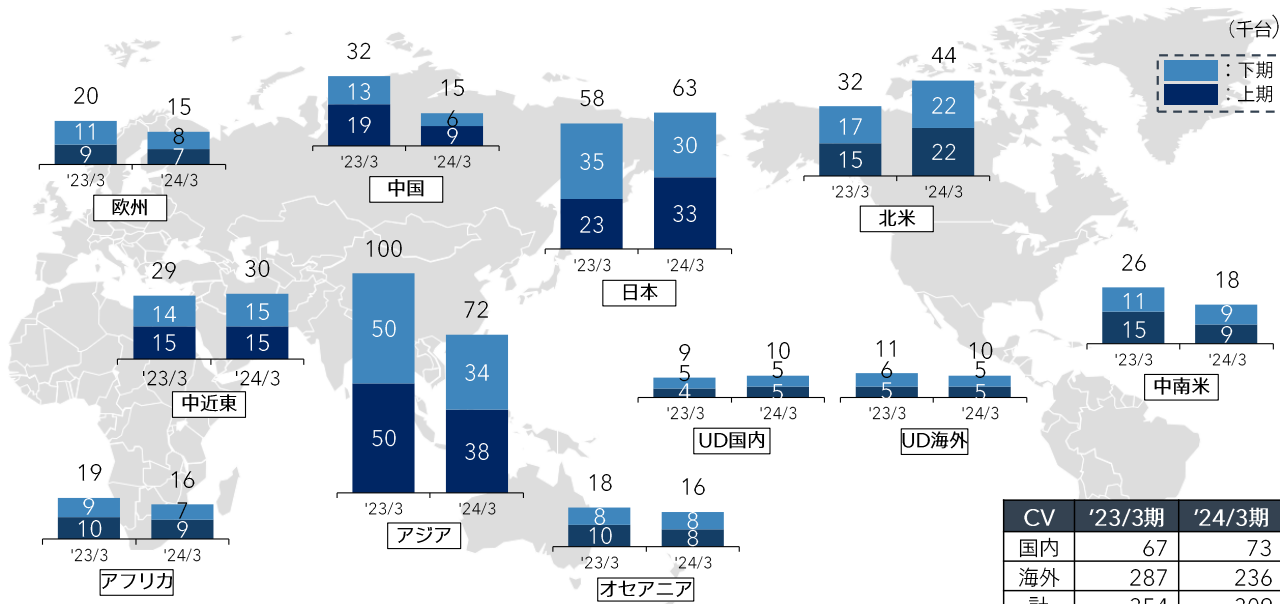


6

続きまして、24年3月期実績についてご説明します。

'24年3月期 CVグローバル販売台数実績

■ 日本・北米は、部品不足の改善により増加も、アジアを中心に金利上昇・インフレ影響による市況悪化を受け、全体では減少



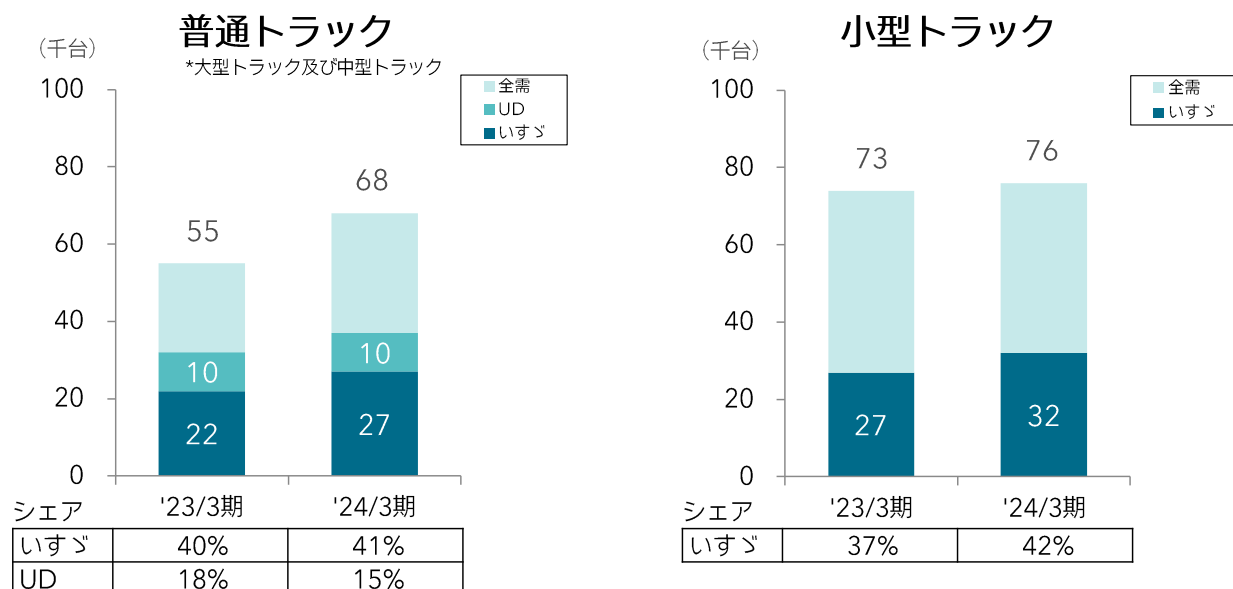
CVグローバル販売台数です。

日本・北米向けは、部品不足の改善により増加しましたが、アジアなどの金利上昇・インフレ影響により、全体では減少しました。

なお、国内向けについては、新型車の品質作り込みに、想定以上に時間を要したこともあり、2月に公表した前回見通しから台数が減少しています。

'24年3月期 国内トラック 全需・シェア実績

- 全需：いすゞ・各社で部品不足の解消が進み、普通／小型共に回復
- シェア：部品不足の解消が進み、普通／小型共に増加



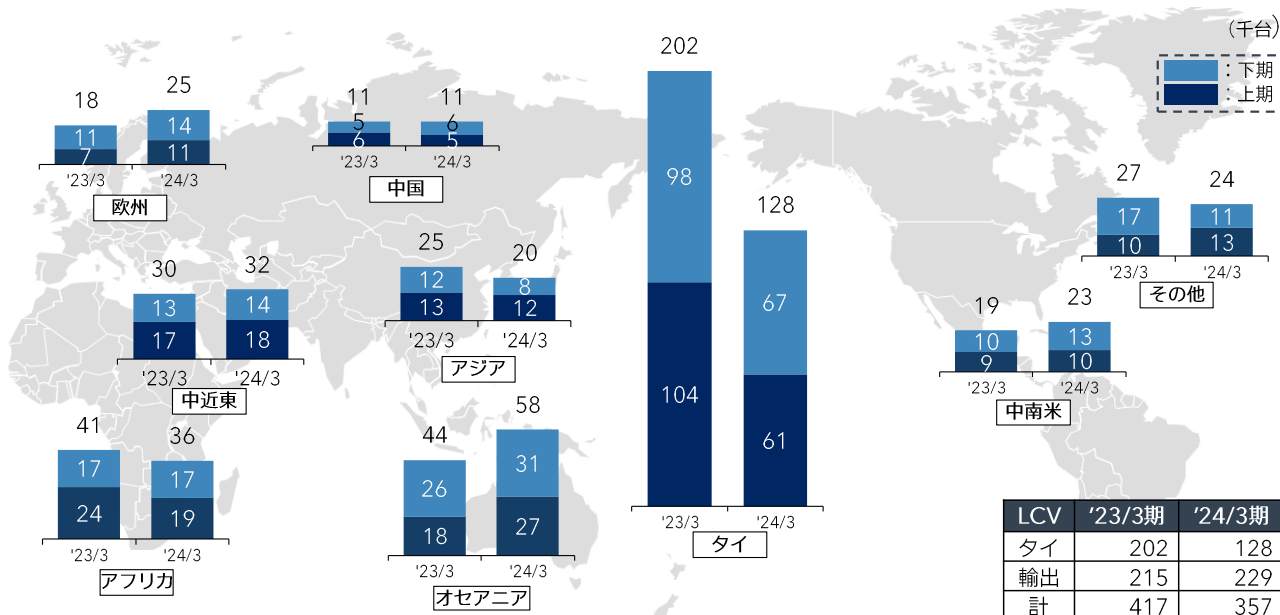
国内の全需及びシェアの実績です。

全需は、いすゞ・各社共に、部品不足の解消が進み、普通・小型共に回復しました。

シェアについても、部品不足の解消が進んだことで、普通・小型共に増加しました。

'24年3月期 LCVグローバル販売台数実績

■ タイ国内向けは市況厳しく大幅減、輸出向けは、先期の部品不足により積み上がったバックオーダーの消化により増加



LCVグローバル販売台数です。

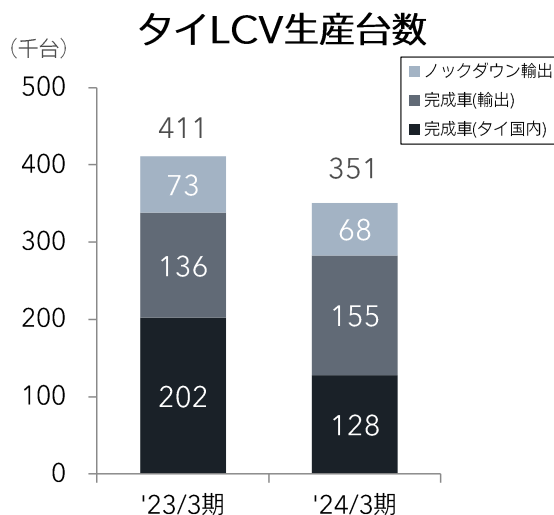
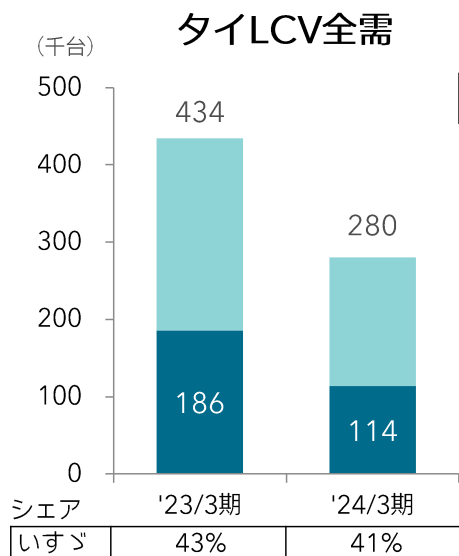
タイ国内向けは市況厳しく、先期から大幅減となりましたが、輸出向けは、先期の部品不足により積み上がったバックオーダーの消化により、増加しました。

なお、オセアニアについては、3月に出荷が遅れたこともあり、2月に公表した前回見通しから台数が減少しています。

'24年3月期 タイLCV全需・シェア実績／LCV生産台数実績



- 全需は、市況悪化により▲35%の大幅減、シェアは高シェアを維持
- 生産台数は、バックオーダー消化で輸出向けは増加も、タイ国内向けの大幅減により先期を下回る



タイのLCV全需、シェア、及び生産台数の実績です。

全需は、市況の悪化により、先期から大幅減となりましたが、シェアは、高シェアを維持しています。

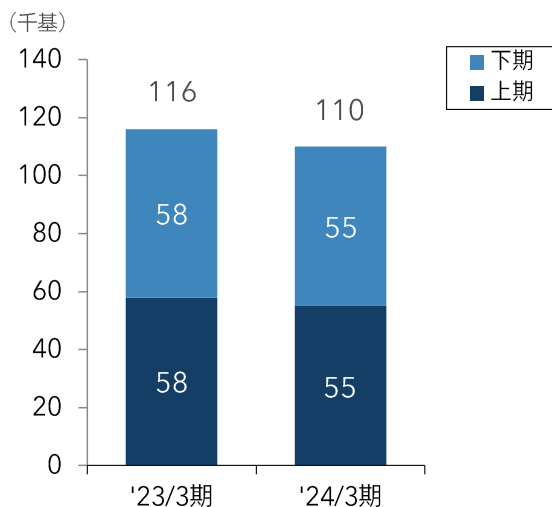
生産台数は、バックオーダーの積み上がった輸出向けは増加しましたが、タイ国内向けの減少が大きく、全体では先期を下回りました。

'24年3月期 産業用エンジン出荷/アフターセールス売上実績

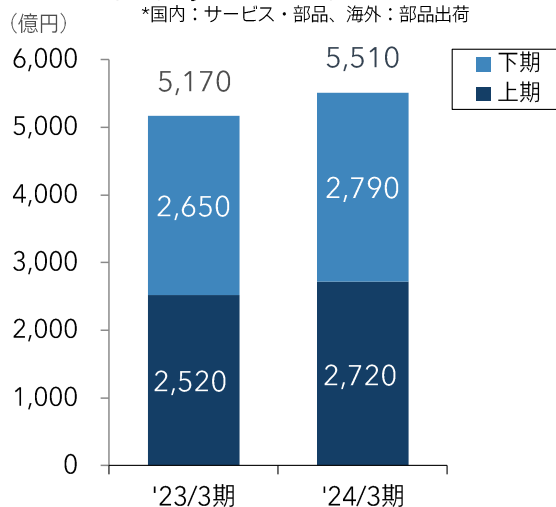


- 産業用エンジン：中国の市況厳しく、先期から減少
- アフターセールス：国内を中心に需要を取り込み、先期から増加

産業用エンジン出荷基数



アフターセールス



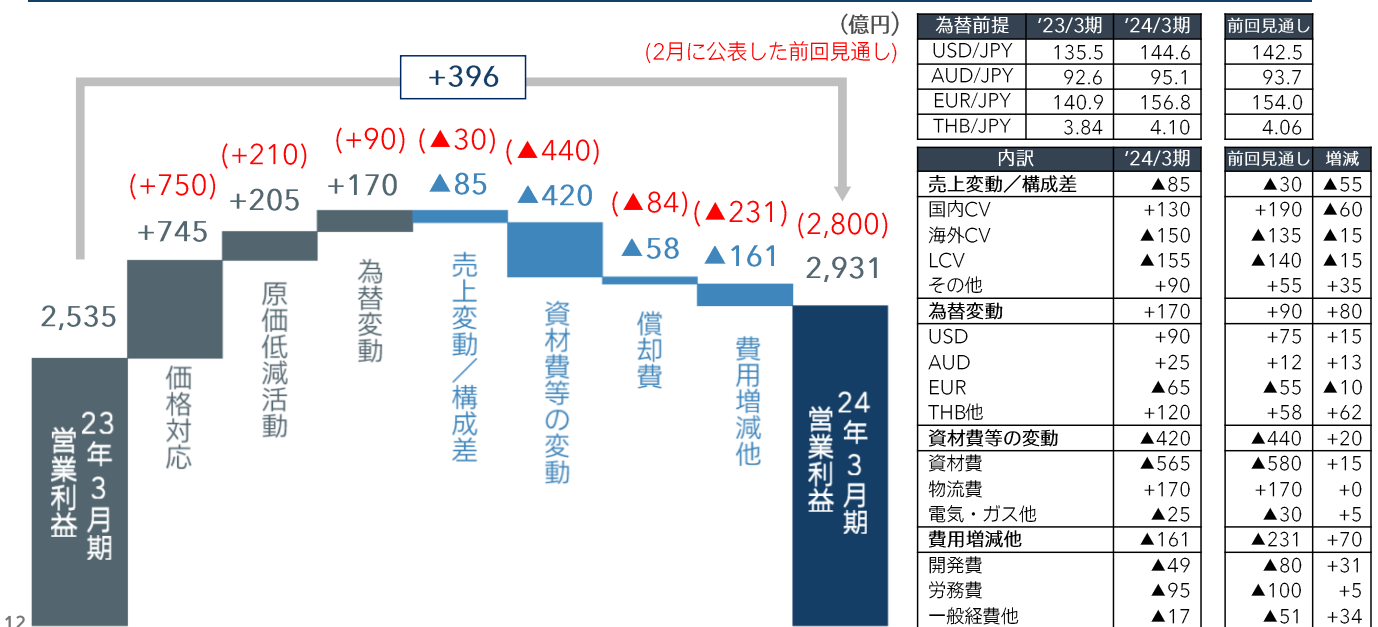
産業用エンジン、アフターセールスです。

産業用エンジンの出荷実績は、中国の市況が厳しく、先期から減少しています。

一方、アフターセールス売上は、国内を中心に需要を取り込み、先期から増加しています。

'24年3月期 営業利益増減分析 -前年同期比-

■ 台数減、資材費等の高騰の影響あるも、価格対応、原価低減活動、円安影響により過去最高益を計上



続きまして、営業利益の増減分析になります。

販売台数の減少、資材費等の高騰による影響はありましたが、価格対応及び原価低減活動の推進に加えて、円安影響もあり、先期に対し+396億円の増益となりました。

為替実績は上段に記載した通りです。

'24年3月期 決算実績 - 前年同期比 -

(億円)	'23/3期	'24/3期	対前年比増減	
売上高	31,955	33,867	+1,912	+6%
営業利益	2,535	2,931	+396	+16%
経常利益	2,699	3,130	+431	+16%
当期利益*	1,517	1,764	+247	+16%

	'23/3	'24/3		'23/3	'24/3
営業利益	2,535	2,931	経常利益	2,699	3,130
持分法による投資損益	+58	+27	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	+16	+39
為替差損益	▲24	+75	減損損失(非支配株主持分控除後)	-	▲47
その他	+130	+97	ロシア事業関連損失	▲17	▲22
経常利益	2,699	3,130	法人税等	▲732	▲842
			非支配株主に帰属する当期純利益	▲449	▲494
			当期利益*	1,517	1,764

*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の説明です。

経常利益は、営業利益2,931億円から、持分法による投資損益、為替差損益などを加減し、3,130億円となりました。

当期利益は、経常利益3,130億円から、法人税等、非支配株主に帰属する当期純利益などを加減し、1,764億円となりました。

なお、第4四半期には、前回見通しに織り込んでいた、「中国事業に関する減損損失」▲47億円を計上しています。

一方で、前回見通しに織り込んでいた、子会社であるIJTTの再編に伴う「事業再編関連損失」▲60億円の計上については、株式売買取引が4月にずれ込んだため、25年3月期に計上が後ろ倒しとなっています。

3. 2025年3月期 見通し

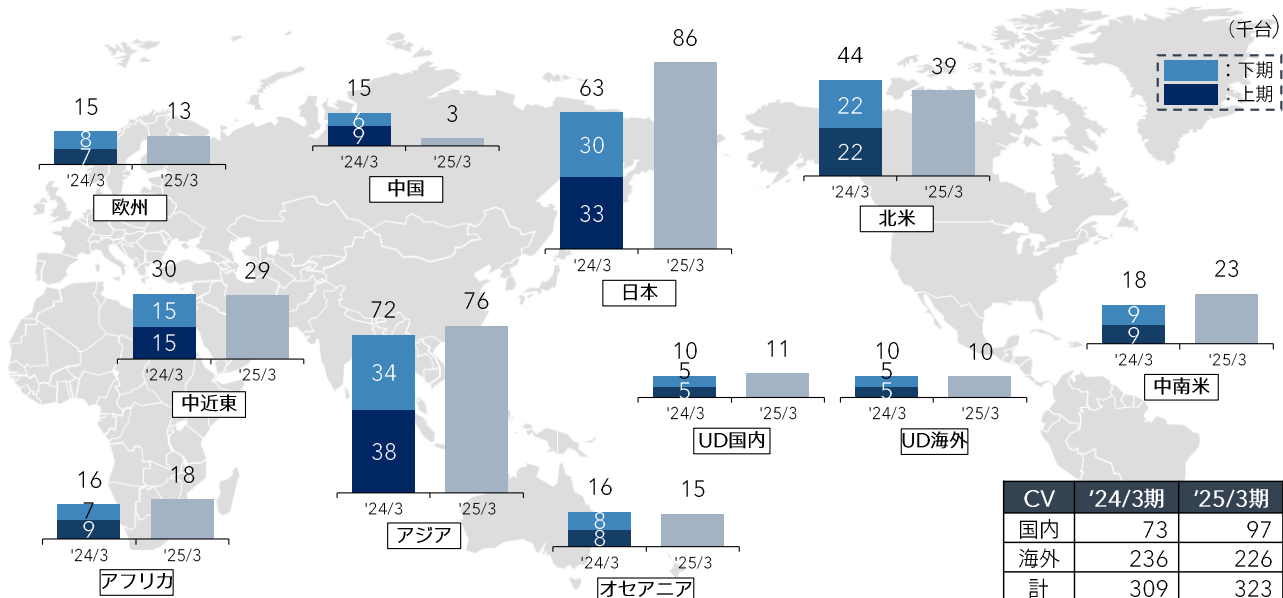


14

続きまして、25年3月期見通しについてご説明します。

'25年3月期 CVグローバル販売台数見通し

- 国内向けは、出揃った新型車の拡販、オペレーション正常化により台数増を目指す
- 海外向けは、厳しい市況が想定される中、先期レベルの台数確保を目指す



15 *国内CV：卸売/直納、海外CV：北米/豪州は現地DB卸売、その他地域は日本出荷

CVグローバル販売台数の見通しです。

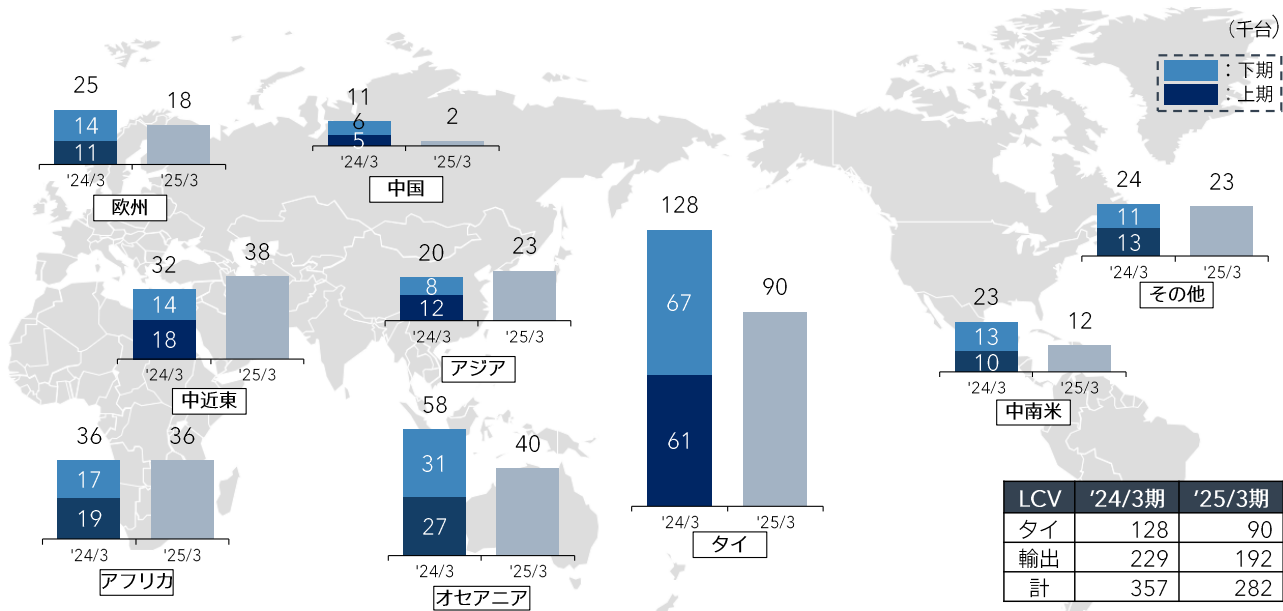
国内向けは、出揃った新型車の拡販、オペレーションの正常化により、台数増を目指します。
なおこの台数には、今夏販売開始予定の1.5tディーゼルトラックであるELF mio 5千台を含んでおります。

海外向けは、厳しい市況が想定されますが、先期レベルの販売台数の確保を目指します。

なお、アジアについては、トータルの台数は増加しますが、タイ向けの台数が排ガス規制切替の影響で減少するため、仕向・車型構成は悪化することを見込んでいます。

'25年3月期 LCVグローバル販売台数見通し

- タイ向けは、下期からは緩やかな回復が始まることを想定も、通期では大幅な台数減を見込む
- 輸出向けは、先期でバックオーダーが正常化したため、オセアニア・欧州などで台数減を見込む



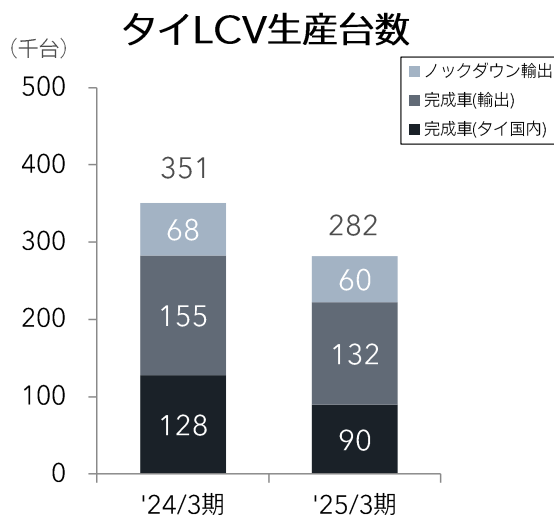
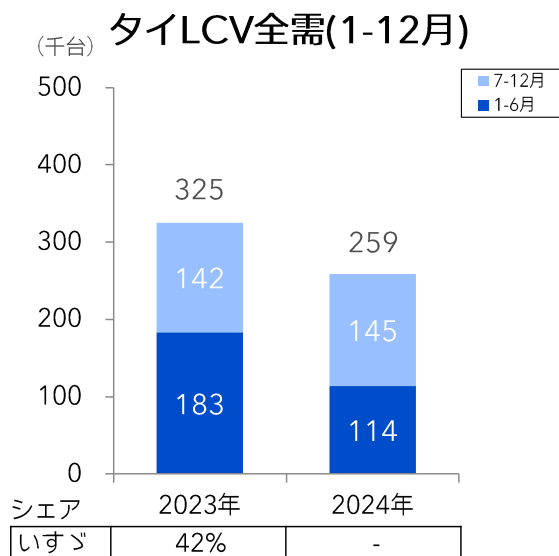
LCVグローバル販売台数の見通しです。

タイ向けは、上期は厳しい市況が続き、下期からは緩やかな回復が始まることを想定していますが、通期では大幅な台数減を見込みます。また、急激な市況悪化により、販売サイドの在庫が通常から25千台ほど積み増した状態でのスタートとなるため、実需以上の台数減を見込んでいます。

輸出向けについても、先期でバックオーダーが正常化したため、オセアニア・欧州などで台数減を見込みます。

'25年3月期 タイLCV全需・シェア／LCV生産台数見通し

- 全需は、前半は厳しい市況が続き、後半からは緩やかに回復が始まることを想定
- 生産台数は、タイ向けが厳しい市況、輸出向けがバックオーダー正常化により、共に大幅減



タイのLCV全需、シェア、及び生産台数の見通しです。

全需はカレンダーイヤーの台数になります。

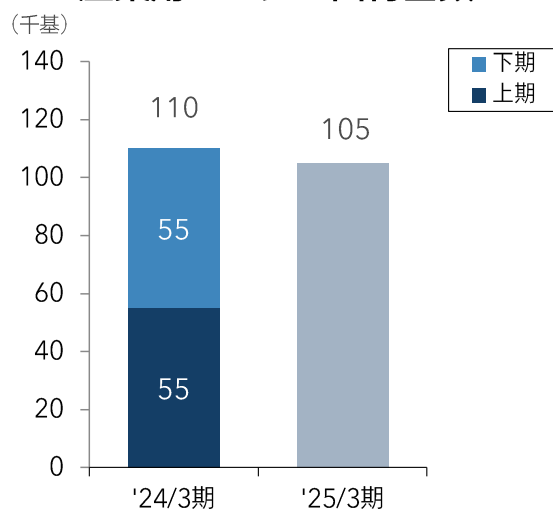
今年の前半は、足元の厳しい市況が続き、後半からは、緩やかに需要回復が始まることを想定しています。

生産台数は、タイ向けが厳しい市況、輸出向けがバックオーダーの正常化により、共に大幅減を見込みます。

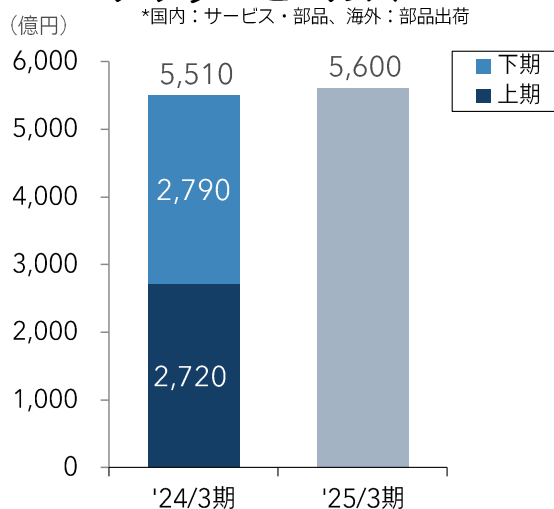
'25年3月期 産業用エンジン出荷/アフターセールス売上見通し ISUZU

- 産業用エンジン：需要の回復は見込めず、先期並の出荷基数を見込む
- アフターセールス：国内・海外共に需要を取り込み、先期から増加を目指す

産業用エンジン出荷基数



アフターセールス



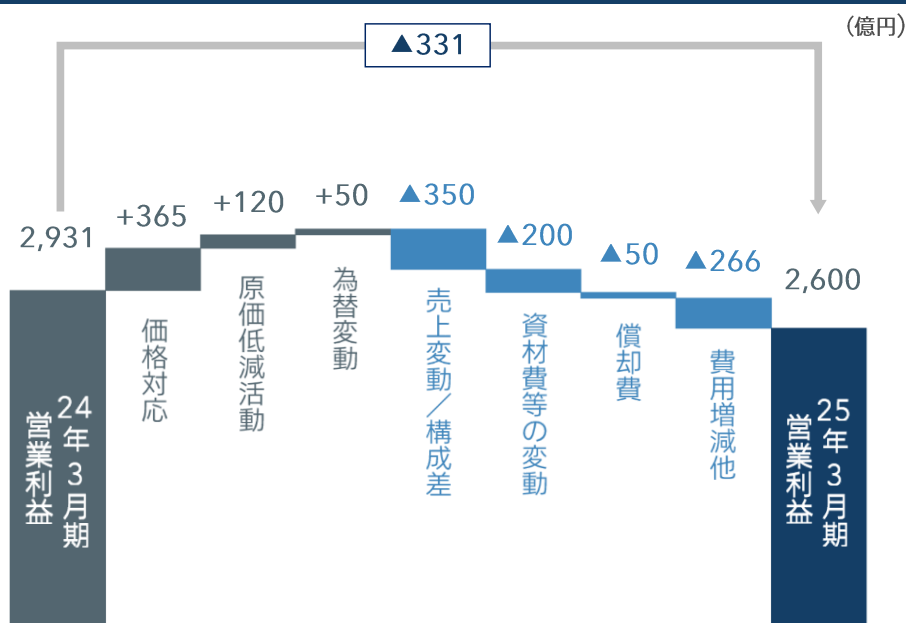
産業用エンジン、アフターセールスの見通しです。

産業用エンジンは、需要の回復が見込めないことから、先期並の出荷基数を見込みます。

一方、アフターセールス売上は、国内・海外共に需要を取り込み、先期からの増加を目指します。

'25年3月期 営業利益見通し 増減分析 -前年同期比-

- LCVの台数減・資材費等の悪化によるマイナスあるも、国内向けCVの台数増・価格対応・原価低減活動の推進によるプラスで減益幅を縮小、▲331億円減益の2,600億円を見込む



為替前提	'24/3期	'25/3期
USD/JPY	144.6	145.0
AUD/JPY	95.1	98.0
EUR/JPY	156.8	160.0
THB/JPY	4.10	4.10

内訳		'25/3期
売上変動／構成差		▲350
国内CV		+250
海外CV		▲220
LCV		▲395
その他		+15
為替変動		+50
USD		+4
AUD		+28
EUR		▲14
THB他		+32
資材費等の変動		▲200
資材費		▲140
物流費		▲60
電気・ガス他		+0
費用増減他		▲266
開発費		▲111
労務費		▲80
一般経費他		▲75

続きまして、25年3月期営業利益見通しの増減分析です。

LCVの台数減、資材費等の悪化によるマイナスはありますが、国内向けCVの台数増、価格対応及び原価低減活動の推進によるプラスで減益幅を縮小することで、先期から▲331億円の減益となる、2,600億円を見込みます。

'25年3月期 決算見通し -前年同期比-

(億円)	'24/3期	'25/3期	対前年比増減	
売上高	33,867	33,500	▲367	▲1%
営業利益	2,931	2,600	▲331	▲11%
経常利益	3,130	2,750	▲380	▲12%
当期利益*	1,764	1,600	▲164	▲9%

	'24/3	'25/3		'24/3	'25/3
営業利益	2,931	2,600	経常利益	3,130	2,750
持分法による投資損益	+27	+100	投資有価証券売却損益、固定資産売却損等	+39	▲35
為替差損益	+75	-	事業再編関連損失	-	▲60
その他	+97	+50	減損損失(非支配株主持分控除後)	▲47	-
経常利益	3,130	2,750	ロシア事業関連損失	▲22	-
			法人税等	▲842	▲660
			非支配株主に帰属する当期純利益	▲494	▲395
			当期利益*	1,764	1,600

*親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益以下の増減は、以下の通りです。

子会社であるIJTTの再編に伴う「事業再編関連損失」▲60億円の計上を見込んでおります。

なお、株式売買取引は、2024年4月26日に完了しております。

2025年3月期見通しについての説明は、以上になります。

4. 2027年3月期定量値目標



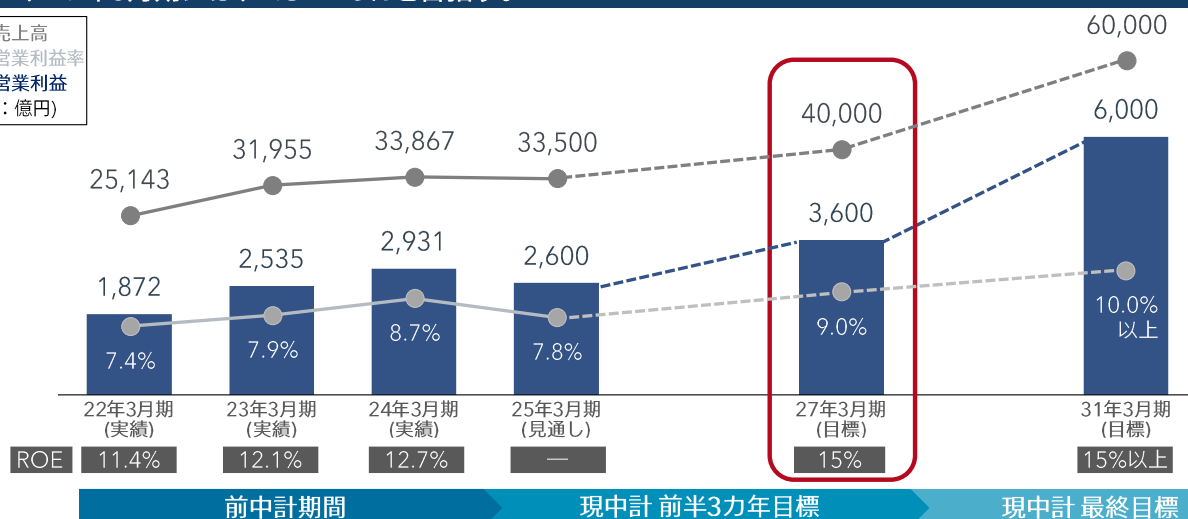
21

続きまして、今年4月に公表した中期経営計画「ISUZU Transformation」の達成に向けた、3年後、2027年3月期の定量値目標についてご説明します。

'27年3月期 定量値目標

- 27年3月期は、売上高・営業利益・営業利益率の全項目において拡大・改善を目指す。
(27年3月期 定量値目標) 売上高 4兆円、営業利益 3,600億円、営業利益率 9.0%
- 現中計期間は積極的な成長投資を実行。既存事業を強化・拡大することにより、定量値目標を達成。
- 株主還元については、配当性向 40%、機動的な自社株式取得を継続。適正な自己資本水準を意識しつつ、27年3月期には、ROE 15%を目指す。

●：売上高
●：営業利益率
■：営業利益
(単位：億円)



22

はじめに、定量値目標です。

27年3月期は、既存事業を強化・拡大し、売上高4兆円、営業利益3,600億円、営業利益率9%、ROE15%を目指します。

株主還元については、前中計期間の方針を継続し、配当性向40%、機動的な自己株式取得も実行していきます。

利益の伸長、及び株主還元の強化により、資本効率をさらに向上させていきます。

'27年3月期 販売台数目標

- 国内CVは、いすゞ・UD両ブランドの相互補完、両販売チャネルを活かし、徹底的に拡販。
- 海外CVは、アフターサービス重視のビジネスモデル推進により、新車拡販。
- LCVは、タイ向け・輸出向け共に目先の踊り場あるも、24年3月期レベルの需要回復を想定。
- アフターセールスは、新車拡販効果に加え、地域ニーズに合わせたアフターサービスを順次展開。「トータルライフサイクルで稼働を支えるサービス」を実現。

(販売台数：千台)	24年3月期 (実績)	25年3月期 (見通し)	...	27年3月期 (目標)
販売台数/売上高				
国内CV	73	97		100
海外CV	236	226		260
北米	44	39		45
アジア	72	76		100
中近東・アフリカ	46	47		50
その他	74	64	...	65
LCV	357	282		360
タイ	128	90		130
輸出	229	192		230
産業用エンジン	110	105		120
アフターセールス (売上高:億円)	5,510	5,600		6,000

続きまして、販売台数の目標値です。

国内CVは、いすゞ・UD両ブランドの商品・販売チャネルを生かし、10万台の販売を目指します。

海外CVは、お客様から選ばれるべく、アフターサービス重視のビジネスモデルを推し進め、新車拡販をしていきます。

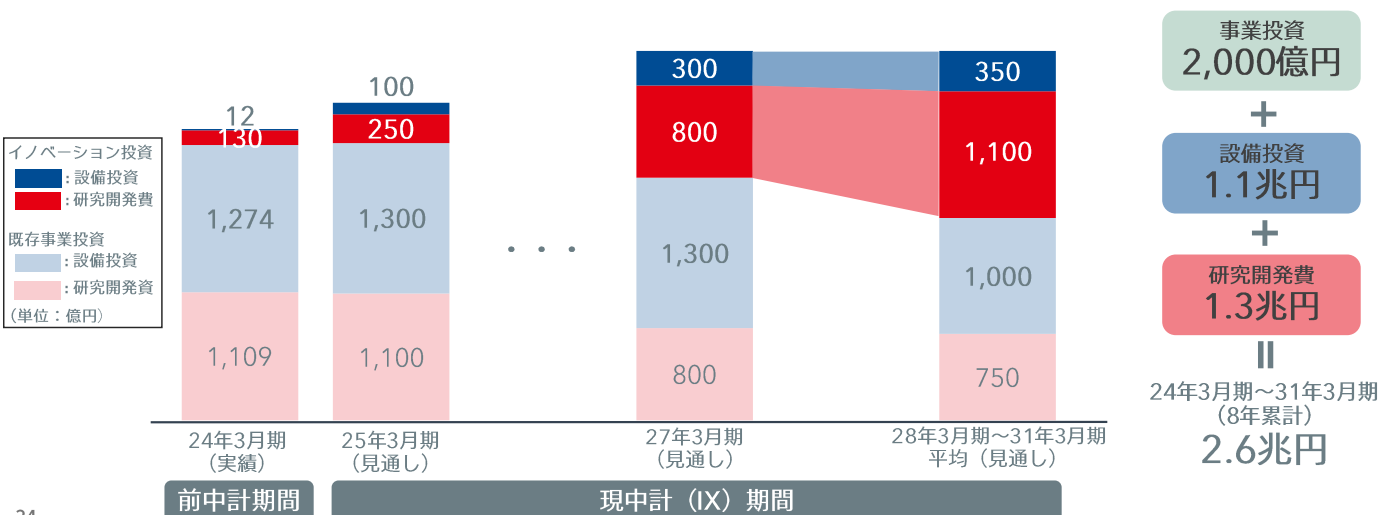
LCVは、タイ向けについては足元の市況は厳しいものの、今期後半からの緩やかな回復を見込んでおり、27年3月期には、24年3月期レベルまでの需要回復を見込んでいます。

輸出向けについては、新興国を中心に拡販を進めていきます。

また、アフターセールスは、新車の拡販効果に加え、海外においても地域ニーズに合わせたアフターサービスを順次展開し、お客様の稼働をしっかりと支えながら、拡大していきます。

'27年3月期 投資計画

- 25年～27年3月期は、生産拠点・販売拠点・サービスインフラ等の既存事業強化に向けた投資を計画。イノベーション投資は、ソリューション事業展開に向けて、自動運転関連の研究開発投資を計画。
- 31年3月期に向けては、イノベーション投資のウエイトを拡大。



最後に、投資計画になります。

27年3月期までは、ソリューション事業展開に向け、自動運転関連等のイノベーション投資を進めつつ、既存事業の強化につなげる投資も、積極的に実行していきます。

27年3月期の設備投資、研究開発費の合計は3,200億円を見込んでおり、25年3月期に比べ450億円増加する見込みとなります。

31年3月期に向けては、イノベーション投資を更に加速させつつ、既存事業への投資は効率化することで、設備投資と研究開発費の合計金額を増加させないように進めていきます。

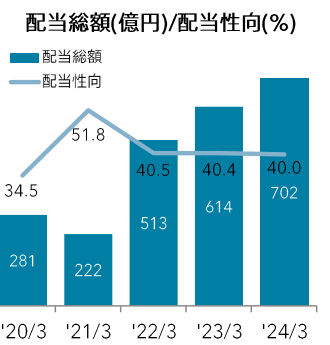
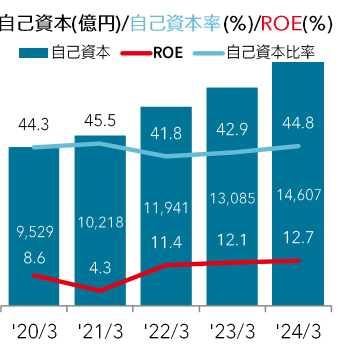
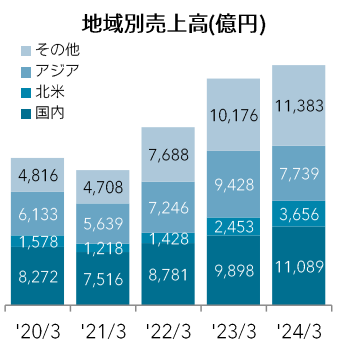
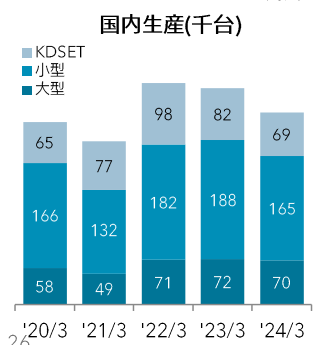
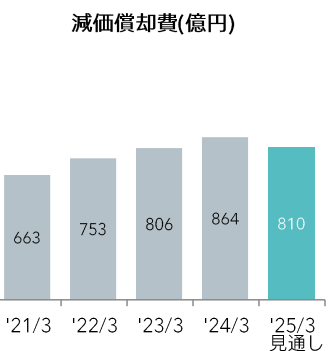
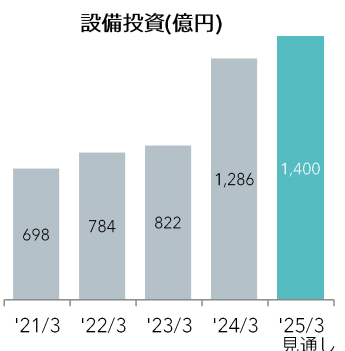
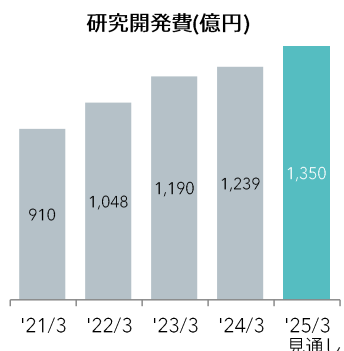
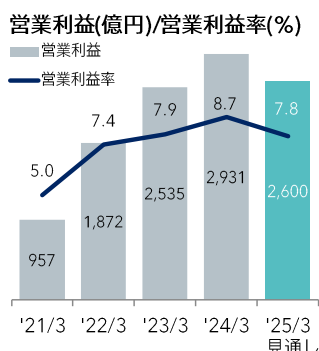
2027年3月期定量値目標の説明は以上です。

これをもちまして、いすゞ自動車株式会社2024年3月期決算説明を終了します。ご視聴いただき、有難うございました。

地球の「運ぶ」を創造する

ISUZU

(付表) 主要事業指標推移等



(付表)本資料で使用している当社の製品カテゴリを示す用語について

ISUZU

CV (Commercial Vehicle)

■トラック及びバスの総称

■トラックは、主に日本を拠点に生産・輸出（いすゞ拠点：神奈川県 藤沢工場、UDトラックス拠点：埼玉県 上尾工場）

■バスは、日野自動車との合併企業であるジェイ・バスで生産され、いすゞ/日野の両ブランドで販売

<主なラインナップ>



大型トラック「ギガ/クオン」



中型トラック「フォワード」



小型トラック「エルフ」



路線バス「エルガ」



観光バス「ガーラ」

LCV (Light Commercial Vehicle)

■1トン積みピックアップトラック、及び同車をベースにしたPPV(Pick-up Passenger Vehicle)の総称

■主にタイを拠点に生産・輸出

<主なラインナップ>



ピックアップトラック「D-MAX」



PPV「MU-X」

(付表) 販売台数の集計ポイントについて

連結販売台数：決算短信の「連結販売実績」に記載される台数

